

大久保地区の公共施設再生説明会(第1回)での主な意見に対する回答

頂いた意見



藤崎図書館の廃止に反対です。
小さい子どもや高齢者は、図書館が遠くなり、通えなくなります。
消防署との複合施設であり、施設がなくなるのならば、そのまま残してください。

市の回答



習志野市ご当地キャラ
「ナラシド♪」

限りある財源の中で図書館を充実するためには、施設を集約し、大久保図書館の規模を拡大することが必要であると考えています。
移動図書館の巡回や袖ヶ浦団地内にNPO団体が開設しているような民間の図書館の誘致が可能かなど、身近な場所で図書の受け渡しができないかということについて検討を進めていきたいと考えています。



あづまこども会館の廃止に反対です。
子どもが遊ぶ場所がなくなってしまいます。

市内に児童館は1館しかなく、地域格差が生じています。
子どもの居場所については、全市的に必要であるという考えから、市内の各公民館、市民プラザ大久保で「子ども広場」事業を実施しています。
ただし、週に1回程度の実施となっているため、今後、この事業の拡大を図っていきます。



施設が集約化されると、使える施設が減るので、これまで行ってきたサークル活動が継続できるか心配です。

これまでの利用統計や稼働率等を分析し、現在のサークル活動を継続していただけるような部屋の広さと数を検討していきます。



再編する施設には、音楽のまちにふさわしいホールを備えることやバリアフリーに配慮してもらいたい。

再編する施設に必要な機能については、今後市民の皆様と一緒に検討を進めてまいります。
ぜひ、いろいろな観点からのご意見をお聞かせください！！

